

遠い地から上ノ国を想う



3月28日、東京近郊の上ノ国町出身者で構成される第18回東京かみのくに会総会および懇親会が東京上野で開催され、町から町長・議長をはじめとする8名が参加しました。

会場では、本町から持参した特産品販売が行われ、故郷のスライドを見ながら参加者全員が「故郷」を合唱したほか、関東を中心に活動する町出身者のバンド演奏・上ノ国音頭など、ふるさとを懐かしむ和やかな雰囲気の中で交流が行われました。

また、来年度の総会は、本町で開催される予定となっており、会員は来年の交流を楽しみにしていました。

本町に北海道日本ハムファイターズ公式後援会が設立

3月21日、ジョイ・じよぐらにおいて、北海道日本ハムファイターズが公認する後援会設立総会が開催されました。

本町と北海道日本ハムファイターズは、日本ハム球団179市町村応援企画により、平成25年に武田投手と森内投手が本町の応援大使に就任し、町民による観戦ツアーや両選手の来訪などが行われ、このことが後援会設立の大きなきっかけとなりました。

この後援会には現在52名が参加しており、会長には、岩田靖さん(字上ノ国)が就任し、今後も会員の募集を図り後援会活動を充実させ、応援ツアーの実施などを予定しているとのことでした。



エビ漁、好調に終わる！



昨年休漁していた本町のエビ漁が再開され、2月から4月にかけて好調な漁獲量を記録しました。

今年のエビ漁は、6人の漁業者が共同で漁をする形で行われ、多い日には発泡スチロール3キが1日80箱以上と例年の倍以上出荷され、4月10日に終了しました。

また、4月3日から5日にかけて、全国放送のテレビ番組「カサエビ」が漁業関係者などへのインタビューを交えて取材されるなど、本町のエビが大きくクローズアップされました。

全町規模のクリーン作戦でまちのゴミが1掃

4月19日、全町一斉のクリーン作戦が行われ、各地区で保育園児から高齢者まで、多くの方々が参加しました。

この日は春らしい暖かな1日となり、地区によっては朝早くからごみ拾いをする方の姿も見られ、捨てられた空き缶や空容器などを回収し、清掃は終了しました。

毎年、道端に捨てられたり、海から漂着した新たなゴミが生まれることは仕方ない事かもしれないが、これからも全町が団結して住んでいて気持ちのいいまちを保てるよう、心がけていきましよう。

